

---

I think that

ルエル

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

I think that

### 【Nコード】

N35820

### 【作者名】

ルエル

### 【あらすじ】

貴女から見ればそうかもしれない。  
でも、貴女は勘違いをしている。  
大きな、大きな勘違いを。

## 貴女の世界

貴女は云った。

「自分の世界には偽りがある」と。

でも、私は思う。

「貴女の世界に偽りは無い」と。

だって、そうでしょう？

今、私たちの周りにある世界は全て現実で。

貴女の世界は、貴女が自分で手に入れた現実の世界。

そして。

彼は貴女が大好きで、

貴女は彼が大好き。

彼は貴女の大切な人で、

貴女は彼の大切な人。

それらも全て現実。

私たちの世界を創っている一つの定義。

定義が覆る事はない。

そんな事、ありえないのだから。

今の私に貴女を励ます事は出来ないから。

だからこれは、自分で自分に言い聞かせる言葉。

“ 現実を受け入れよう。少しずつでいい。背を向けていても何も変わらないのだから。向き合おうとしなければ、決して変わらないのだから。”

## みんなの道

貴女は云った。

「自分だけが前に進めず、平気なフリをしている」と。

だから私は、貴女に伝えよう。

「そんなことは無い」と。

貴女はちゃんと歩んでいる。

貴女だけの道を。

私もちゃんと歩んでいる。私だけの道を。

あるのは、山道かアスファルトの道かの違いだけ。

一歩の大きさが違うだけ。

でも、元は一本の大きな道。

貴女の道も。彼の道も。私の道も。あの子の道も。

全部が集まって、大きな、大きな道になっていた。

何があっても壊れなかった道。

ずっと壊れないと思っていた。

その道に爆弾を仕掛けたのは私。

その爆弾を取り外す事は不可能。  
気付いたときには爆発していて。  
大きな道は小さな道になっていた。

最初は悲しんだ。  
けど。

「だったら、今度は道を直そうよ」

設計図は持っている。

“思い出”という設計図を。  
材料も持っている。

“絆”という材料を。

ならば、造ろう。

“友情”という大きな道を。  
今度こそ、壊れないように。

## 貴女のペースと私のペース

貴女は云った。

「私が私のペースに戻りつつある」と。

じゃあ、私も云おう。

「貴女も元の貴女に見える」って。

あ、これも伝えよう。

「私たちのそれはきつと見かけの運動だ」と。

貴女が使っていたのは『陰暦』

ついこの前、『太陽暦』に変わったばかり。  
使い慣れていなくて、

やっとわかるようになったばかり。

だから勘違いをしている。太陽の周りを365日で、一秒のズレも無く回ったと。

だからきつと気付かない。閏年の事を。

一日のズレがある事を。

貴女は知っているはずでしょ？

私が入前で泣けない事を。滅多に入前で泣かない事を。

それは私の閏年。

きつと貴女が気付かないもの。

多分、貴女にもある。

きつと私の気付かない、貴女の閏年が。

ペースが戻って見えるのは、見かけの運動。

本当は完全じゃない。

まだ、キツパリと割り切れていないから。

いつか支障を来すかもしれない。

そうなる前に、元に戻れると良いな。

ねえ、閏年を作ろうよ！



お互いさま(前書き)

ねえ。

どうせ、お互いさまなんだ。

だったら、「さっしゅ」もお互いさまね。

## お互いさま

ねえ、貴方はいつまで泣いているの？  
いつまで、後悔しているの？

それは、自分が向けられた言葉。  
そして、貴方に向けた言葉でもある。

最近、確かに私も強く当たった。  
でも、いつまで『それら』で悩むの？

悩んだって、結果はどうせ変わらない。  
だって、お互いさまに行動して、お互いさまの結果になったんだから。

そうでしょう？

何だかんだ言っつて、お互いに《失った人》と《得たもの》がある。  
それが、真実。今の私たちの世界<sup>してん</sup>。

それに、言っただけでしょう？

『また、いつか。』

『また、“いつものメンバー”で。』って。

『私の大好きな人を、任せる』って。

その貴方が、そんなに悩んでてどうするの？

確かに、貴方は裏切った。

でも、今、貴方の周りにいるのは、そんな貴方を受け入れているはずでしょう？

貴方を、選んだ人のはずでしょう？

私は、貴方に彼を任せたことを後悔したくない。

貴方が、そんなだったら、私はどうしたらいいの？

悩んで、後悔して、苦しくなるようなら、初めからこんなことをしなければよかったです。

でも、そんなのもう全て、「過去」になってしまった。

貴方のした事も、私のした事も。

変える事は、できない。変わらない事を、悔やんでも仕方がないでしょう？

だったら、「今」をしっかり過ごそうよ。  
ね？

お互いさま、なんだからさ。

## お互いさま（後書き）

……はい、支離滅裂でごめんなさい。  
深く、反省します。

でも、ちゃんと伝わってくねると、嬉しいですよ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3582o/>

---

I think that

2010年12月14日09時19分発行